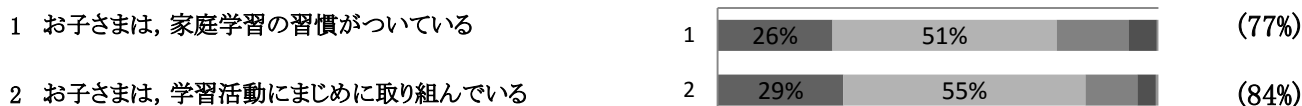
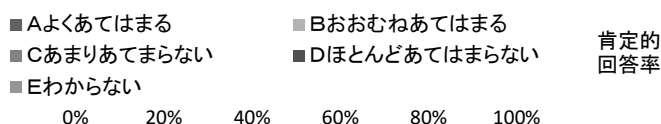


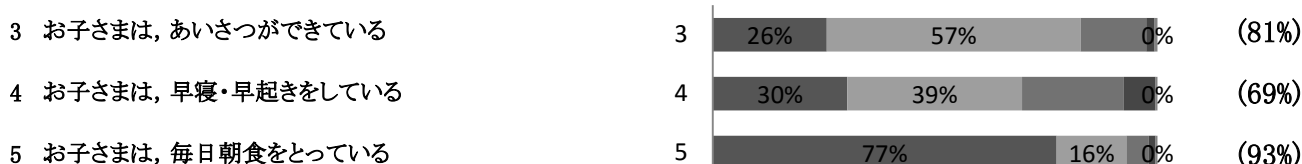
学校教育に関する保護者アンケート集計結果

H31.2.27



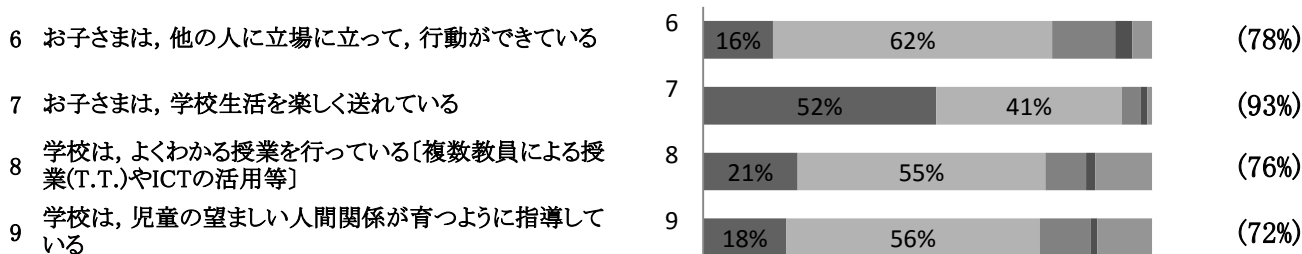
「1 家庭学習の習慣がついている」と答えた保護者の割合は、昨年度に比べて約2ポイント増え約75%です。昨年度から力を入れている家庭学習の充実に向けた取組が、保護者の皆様のご理解ご協力により定着しつつあるようです。一人一人の児童によりよい学習習慣が身につくように、今後も指導を続けてまいります。ご家庭でもご協力をよろしくお願いします。

「2 学習活動にまじめに取り組んでいる」と答えた保護者の割合は約83%で、昨年度に比べて約5ポイント増えています。日常の様子から、児童は全体的に落ち着いて学習に取り組むことができおり、学習習慣や学習規律の確立に向けた日々の積み重ねが、着実に効果を上げています。さらに児童が興味関心を持って真剣に取り組めるような学習活動を実現させていきたいと考えています。



「3 あいさつができています」と答えた保護者の割合は約81%です。昨年より約1ポイント増え、年々肯定的な回答をしていただいており、ここ3年間は80%を超えています。重点課題の一つとして指導を続けてきた成果を感じています。今年度も、教職員、児童会運営委員だけでなく、各学級の児童が交替で行う「あいさつボランティア」の活動も継続しています。今後も家庭や地域の皆様と連携しながら、自分からあいさつができる児童の育成に取り組んでいきます。

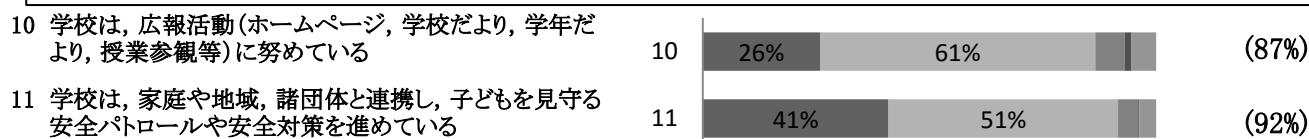
「4 早寝・早起きをしている」児童は、約69%にとどまり、学年が進むにつれて肯定的な回答が顕著に減少しています。「5 毎日朝食をとっている」については、3年連続で約93%です。保護者の皆様のおかげで、多くの児童が気持ちよく登校することができています。基本的な生活習慣の確立と健康な体づくりは、児童の将来の生活すべての基本となるものです。これからも「早寝・早起き・朝ご飯」へのご協力をよろしくお願いします。



「6 他の人の立場に立って行動ができています」は約78%で昨年度より約7ポイントの増加、「9 望ましい人間関係の育成」は昨年度より約4ポイント増加し、約75%となっています。これからも、教育活動全体を通じた人権教育・道徳教育を推進し、思いやりの心を培うよう尽力していきます。ご家庭でも学習した内容やいじめ・人権に関わる問題について、ぜひお子様と話し合ってくださいようお願いいたします。

「7 学校生活を楽しく送れている」についても昨年とほぼ同じで約93%となっています。これからも、すべての児童が楽しく学校生活が送れるように、そうでないと感じている要因をつかみ、その解決にあたりともに、一人一人が大切な存在として尊重され、互いに認め合える学級・学校づくりに取り組んでいきます。

「8 よくわかる授業を行っている」については、約76%となっています。個々の児童に応じた指導ができるように、授業形態や授業展開を工夫し、よりわかりやすい授業づくりに努め、児童の学力向上を目指します。

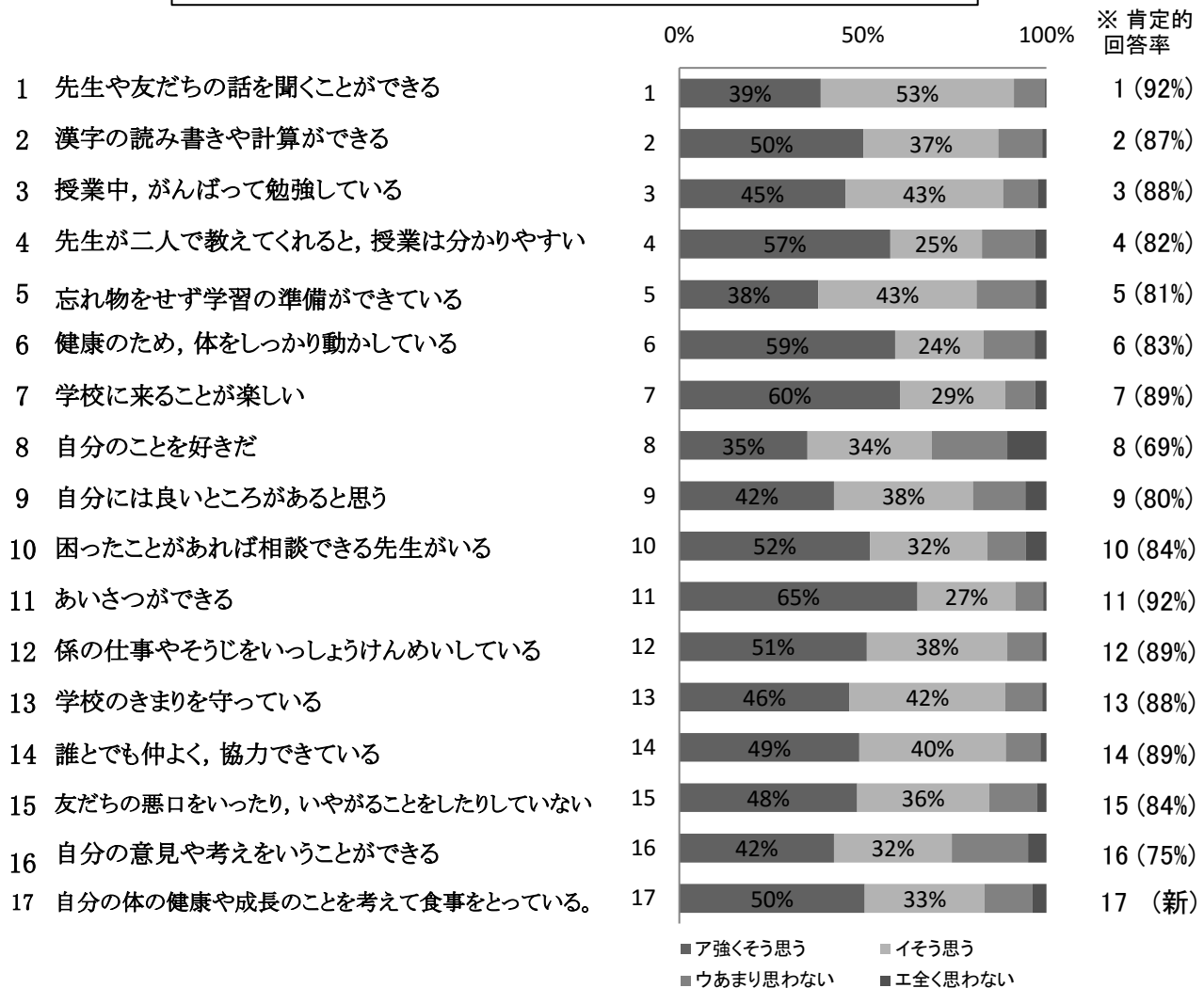


「10 広報活動に努めている」「11 安全パトロールや安全対策を進めている」の項目については、それぞれ約87%、92%の肯定的な回答をいただきました。また、自由記述の欄にも、たくさんの感謝の言葉、肯定的なご意見、貴重なご提言をいただき、ありがとうございました。いただいたご意見を生かして、家庭や地域、諸団体の皆様と連携を図りながら、これからも安全で児童が生き生きと活動する学校づくりを進めていきたいと考えています。

昨年12月、本校の教育活動をより充実したものにするため、保護者の皆様に学校運営、教育活動、児童の様子等について学校評価をお願いしました。心よりお礼申し上げます。

学校評価の集計、分析結果は次のようになりました。児童アンケートは17項目中15項目で、保護者アンケートでは11項目中6項目において、肯定的な評価が80%を超えていました。学校と家庭・地域の連携により、児童が充実した学校生活を送ることができている様子がうかがえます。また、この結果とともに個別にいただいたご意見を生かして、今後も学校運営に真摯に取り組んでまいりたいと考えております。ご協力ありがとうございました。

学校教育に関する児童アンケート集計結果



※ 肯定的回答率とは、ア(強くそう思う)とイ(そう思う)の合計です。

「1 話を聞くことができる」、「11 あいさつができる」は、学校の重点目標として継続的に取り組んでいます。昨年一昨年度に引き続き約90%を超える児童が肯定的に回答しています。あいさつボランティア等、継続した指導が浸透していることを実感しています。学習に関する項目である「2・3・4」は少しずつ向上しており、学習意欲の向上と基礎学力の定着が見られます。「7 学校に来ることが楽しい」については、昨年度並となっています。これからも、児童が生き生きとし、充実した学校生活を送ることができるように支援を継続していきます。「8 自分のことが好き」と答える児童の割合は69%で、昨年度と比べて増加していますが、他項目と比べ評価が低くなっています。「8」に関連して、「9 自分には良いところがあると思う」は80%で、自己有用感を感じている児童が増えています。自分を大切な存在と認めることができ、友達も大切にしようとする児童を育てられるよう、今後も児童の「自尊感情」を育てる取組を続けていきたいと考えています。

上記の項目以外については、「16 自分の意見や考えを言うことができる」が75%であることを除けば、どの項目においても80%を超える肯定的な回答をいただいています。児童が落ち着いて行動し、毎日充実した学校生活を送ることができていることがうかがえます。これからも、誰もが認められるあたたかい学級・学年集団づくりに努め、自分の意見がきちんと伝え、友達の考えをきちんと聞くことができるように支援していきます。保護者の皆様にもご支援、ご協力をお願いいたします。